

第六次羽村市長期総合計画 基本計画（案）

（R3年10月19日現在）

未来を築くコンセプト

3

スマートにくらす

1 実現を目指す未来の姿

コンセプト「スマートにくらす」では、自然環境を大切にしながら、日々の“くらし”の中で、便利さや快適さが感じられるよう、次のような“まち”や“くらし”を未来の姿として、実現を目指します。

- 市街地の再編整備や改善など、都市基盤施設の機能の更新が進み、都市基盤が強化され、良好な住環境が創出されています。
- オンラインで、「人と人」や「人とモノ」が、いつでも、どこでも、つながることができ、暮らしのさまざまな分野でICTが活用され、便利で快適な暮らし方や働き方などができています。
- 市民、事業者がごみの減量や資源化に取り組み、資源循環型社会の形成が進んでいます。
- 自然との触れ合いにより、身近な自然を大切にす気持ち芽生え、環境にやさしく暮らしています。
- 再生可能エネルギーの導入がさらに進み、二酸化炭素の排出量が少ない、持続可能で地球にやさしい暮らし方が普及し、人と自然、生き物、都市が調和した社会環境が作られています。

このような“まち”や“くらし”を実現することは、次のSDGsの目標達成にもつながります

●コンセプトに関連するSDGsの目標



2 施策と取組みの方向性

“まち”や“暮らし”の未来の姿を実現するため、次の施策に取り組みます。

施策1 快適な都市環境が整うまち

- 方向性1 快適で生活しやすい環境の整備
- 方向性2 公共施設の機能充実

施策2 いつでもどこでもつながるスマートシティ

- 方向性1 ICTの活用促進
- 方向性2 先端技術の活用

施策3 自然を大切に、次世代につなぐまち

- 方向性1 ごみの減量と資源化の促進
- 方向性2 自然環境の保全

施策4 ゼロエミッションの地球にやさしいまち

- 方向性1 二酸化炭素の排出の抑制

施策 1 快適な都市環境が整うまち

だれもが安全・安心・快適に暮らすことができるよう、道路、駅前広場、公園、水道、下水道などの都市基盤施設の整備や維持保全、公共交通の充実、自然と調和した良好なまちなみの維持に取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ 快適で生活しやすい環境の整備 ■

1. 土地区画整理事業などにより、多くの人が利用する駅を中心とした周辺の整備や都市計画道路など、都市基盤施設の整備・更新に取り組みます。
2. だれもが快適かつ安全に市内を移動することができるよう、道路のバリアフリー化や歩道のネットワーク化などの道路環境の整備に取り組みます。
3. 関係機関との連携を図りながら、広域交通網や公共交通機関の充実に取り組みます。
4. 道路などの交通施設の点検、改修、改良工事等、計画的な維持管理・保全に取り組みます。
5. 水道施設及び下水道施設の適切な維持管理による長寿命化の推進を図り、災害にも備えた対策となるよう取り組みます。
6. 空き家等の適正な管理と利活用の促進に取り組みます。

方向性 2

■ 公共施設の機能充実 ■

1. 公園や児童遊園が、みどり豊かで、多くの人の憩いの場、遊びや運動の場として、また、災害時には地域の拠点として機能するよう、公園環境の充実に取り組みます。
2. 市民や団体などの利用ニーズに合わせ、公共施設の更新や長寿命化、複合化などに取り組みます。

関連する計画

- 羽村市都市計画マスタープラン
- 羽村駅西口土地区画整理事業 事業計画
- 羽村市公共施設等総合管理計画
- 第二次羽村市産業振興計画
- 第二次羽村市水道ビジョン
- 羽村市下水道総合計画
- 羽村市公共建築物等維持保全計画
- 羽村市道路維持保全計画
- 羽村市橋梁長寿命化修繕計画
- 羽村市公園等施設維持保全計画
- 羽村市学校施設長寿命化計画
- 羽村市営住宅長寿命化計画

<用語解説>

- 歩道のネットワーク化：安全に安心して歩行し、散策できるよう、域内の歩道がつながるように歩道の整備をすること
- 都市基盤施設：道路、公園、水道、下水道などの生活や産業の基盤となる施設

施策 2 いつでもどこでもつながるスマートシティ

「人と人」や「人とモノ」が、いつでも、どこでもつながり、さらに生活が便利になるよう、新たな技術を活用する環境の整備や、さまざまな社会経済活動のICT化などに取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ ICTの活用促進 ■

1. 自宅で簡単に手続きを行うことができるよう、マイナンバーカードなどを活用した行政手続きのオンライン化に取り組みます。
2. 市内の経済活動や社会活動がさらに便利になるよう、商店や事業所と連携し、決済手段のキャッシュレス化、情報発信手段のデジタル化の推進などに取り組みます。
3. 市内のさまざまな場所で、迅速にオンラインでつながることができるよう、Wi-Fi環境の整備に取り組みます。
4. ICTを活用した先進事例などの情報を収集し、市民や事業者と共有するなど、ICTの活用促進に向けた取組みを推進します。
5. だれもが、ICTを日常生活に取り入れ、便利で快適な生活を享受できるよう、デジタルデバイドの解消に関係機関などと連携して取り組みます。

方向性2

■ 先端技術の活用 ■

1. AI、IoTやRPAなどの技術を行政サービス等に活用します。
2. デジタルサイネージなどの多様な媒体を活用して、生活に役立つさまざまな情報が得られるよう、民間事業者と連携して取り組みます。
3. 国や東京都と連携し、社会の幅広い分野でのDX（デジタル・トランスフォーメーション）を推進します。

関連する計画

□ 第二次羽村市産業振興計画

<用語解説>

- ICT（Information and Communication Technology）：情報通信技術。通信技術を用いて情報を共有するなどコミュニケーションが含まれる
- Wi-Fi：インターネットのネットワークに無線で接続する技術
- デジタルデバイド：情報格差。インターネットなど、情報通信技術の恩恵を受けることのできる人とできない人の間に生じるさまざまな格差のこと
- AI（Artificial Intelligence）：人工知能。コンピューターのプログラムを用いて、人間の知的行動を人工的に再現すること
- IoT（Internet of Things）：モノのインターネット。あらゆるものがインターネットにつながる仕組み
- RPA（ロボティック・プロセス・オートメーション）：単純な仕事を人に代わり自動的に情報処理をする技術
- DX（デジタル・トランスフォーメーション）：ICTを活用し、生活をあらゆる場面でより良い方向に変化させていくこと
- デジタルサイネージ：映像や文字などをディスプレイに映すことができ、内蔵記録により、その情報などをさまざまに変化させることができる情報発信媒体

施策 3 自然を大切にし、次世代につなぐまち

3R（リデュース・リユース・リサイクル）などの環境配慮行動を実践し、ごみの減量と排出の抑制に取り組みます。また、市内のみどりや水・空気の保全、生物多様性の確保などに取り組むことで、限られた資源を大切にし、次世代に継承していくことに取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ ごみの減量と資源化の促進 ■

1. ごみの排出抑制や分別の徹底などにより、ごみの減量と資源化に取り組みます。
2. 適切で安定した廃棄物処理を継続するため、廃棄物処理施設の計画的な修繕を実施し、施設機能の維持保全を図るとともに、周辺地域における共同処理、民間活力の導入などに取り組みます。

方向性 2

■ 自然環境の保全 ■

1. 自然に触れることの楽しさや、自然を守ることの大切さなどを学ぶ機会の提供に取り組みます。
2. 多様な生物が生息できる環境の維持に努め、生物多様性の確保に取り組みます。
3. 都市計画緑地や保存樹林地、生産緑地など、市内の緑の維持・保全に取り組むとともに、新たなみどりの創出に取り組みます。
4. 人や動植物に優しい都市環境の保全を図るため、大気・水質・土壌・騒音・悪臭・振動などの状況把握に取り組みます。

関連する計画

- 羽村市環境とみどりの基本計画
- 羽村市一般廃棄物処理基本計画
- 羽村市分別収集計画
- 第二次羽村市産業振興計画

施策 4 ゼロエミッションの地球にやさしいまち

再生可能エネルギーを利用したエネルギーの地産地消を推進し、二酸化炭素の排出を削減することなど、脱炭素社会の実現を目指す、地球にやさしいまちづくりに取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ 二酸化炭素の排出の抑制 ■

1. 地球温暖化を防止するため、市民や事業者の省エネルギー行動や再生可能エネルギーの使用を促進し、二酸化炭素の排出抑制に取り組みます。
2. 日常生活や事業活動に伴う環境への負荷を減らすため、市民や事業者への啓発を行い、環境配慮意識の高揚を図ります。
3. 市域での二酸化炭素の排出抑制を図るため、シェアリングエコノミーの普及促進などに、民間事業者等と連携して取り組みます。
4. 市庁用車の電気自動車への更新を進めるなど、公共施設における低炭素化の推進に取り組みます。

関連する計画

- 羽村市地球温暖化対策地域推進計画
- 羽村市エネルギー使用の合理化及び地球温暖化対策統合実行計画

<用語解説>

- ・ シェアリングエコノミー：個人等が保有する活用可能な資産などを、インターネット上のマッチングを介して他の個人等も利用可能とする経済活性化活動

3 まちづくりの指標

コンセプト「スマートにくらす」では、令和2年度に実施した市政世論調査の市民満足度を指標とし、その満足度を上回るように取り組みます。

なお、計画の進捗確認は、これらの指標を参考に、社会経済状況や市の取組みなどを踏まえ、総合的な視点で実施します。

指標の項目		基準となる 市民満足度 (令和2(2020)年度) ※令和2年度市政世論調査数値
1	市街地整備の推進	2.40
2	道路の整備状況	2.50
3	広域交通や市内の交通網の充実	2.70
4	市内の公園	2.80
5	市独自の水道事業	3.25
6	公共下水道の整備	3.00
7	都市環境の向上	2.76
8	自然環境の保全	3.11
9	循環型社会の構築	2.94

(※) 市民満足度…各項目の満足度（4点満点）について、それぞれの値の重みを加味して、平均した数値（加重平均）で表したものを。

市民ワークショップや、
市制施行30周年記念事業の小中学生対象
意見交換会、絵画コンクール作品などを
紹介する予定

未来を築くコンセプト

4

にぎわいを創る

1 実現を目指す未来の姿

コンセプト「にぎわいを創る」では、市内経済活動の基盤強化や市内産業の活性化を図り、羽村市を訪れる人との交流の輪を広げることで、にぎわいがあふれるよう、次のような“まち”や“くらし”を未来の姿として、実現を目指します。

- 多くの企業・事業所が羽村市に集まり、創業が進み、新たな技術やサービスが生まれています。また、新しいアイデアを持った人が市内に集まり、活気が生み出されています。
- 市内の企業等が、業種の垣根を越えて、さまざまな場面で交流し、連携が生まれることで、新たな価値が創出され、市内産業全体が活気に満ちています。
- 多くの企業等が継続的に羽村市内で操業し、市民の雇用機会の創出や、定住の促進、地域の活性化につながっています。
- 地域に根差した都市農業が安定的に営まれ、多面的な機能を持つ農地の保全と有効活用が図られています。
- 市民・事業者が市内での行事やイベントをともに盛り上げており、また、市への来訪者が、さまざまな場所を訪れ、市民とふれあう中で、羽村市の魅力を感じています。
- 楽しい時間を過ごせる羽村市の魅力が、人との交流やさまざまな媒体を活用した情報の交流などを通じて、国内各地や海外へと広がっています。

このような“まち”や“くらし”を実現することは、次のSDGsの目標達成にもつながります

●コンセプトに関連するSDGsの目標



2 施策と取組みの方向性

“まち”や“暮らし”の未来の姿を実現するため、次の施策に取り組みます。

施策1 先端技術産業が集まるまち

- 方向性1 羽村市への進出の支援
- 方向性2 企業間などのつながりの強化
- 方向性3 産業分野間の連携の強化

施策2 市内産業が元気に活動するまち

- 方向性1 継続的な立地の支援
- 方向性2 新たなチャレンジの支援
- 方向性3 人材の確保や育成の支援

施策3 人が集まり、交流を生むまち

- 方向性1 羽村市の魅力の向上
- 方向性2 来訪者とのつながりの創出
- 方向性3 羽村市の魅力の発信

施策 1 先端技術産業が集まるまち

産業振興と都市計画の両面から、先端技術産業などを始めとする企業誘致や、新たな産業の創出を図るとともに、産業集積による先端技術などの開発拠点を形成し、地域における産業連携を促進していくことに取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ 羽村市への進出の支援 ■

1. 市内への立地を希望する企業等のニーズに合わせ、関係機関などと連携した支援に取り組みます。
2. 多種多様な業種の企業・事業所等の産業集積が進み、先端技術産業の研究・開発拠点が形成されるよう、関係機関などと連携した支援に取り組みます。

方向性 2

■ 企業間などのつながりの強化 ■

1. 企業間などの連携や取引、共同研究などが促進されるよう、関係機関などと連携したさまざまな支援に取り組みます。
2. 業種の垣根を超えたマッチングができるよう、オンラインによる交流の場の活用などにより、付加価値を高める取組みを進めます。

方向性3

■ 産業分野間の連携の強化 ■

1. 羽村市産の農産物を市内の商業やサービス業、観光業に活かすことができるよう、連携強化を図ります。
2. 市民や、市内で働く人が、市内での買い物や食事を楽しむとともに、企業や事業所においても市内での調達が進むなど、市内での消費・購買行動が拡大するよう取り組みます。
3. 企業や事業所と市民の交流などを通じて、企業や事業所の特長や商品の製造・流通などについての理解が広がり、連携が促進されるよう取り組みます。

関連する計画

- 第二次羽村市産業振興計画
- 羽村市都市計画マスタープラン

施策 2 市内産業が元気に活動するまち

羽村市の経済活動を支える工業・商業・農業・観光業が、それぞれの事業者の個性を大切にしながら、相乗的に発展していけるよう、市内産業の魅力向上に取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ 継続的な立地の支援 ■

1. 企業等が安定的に事業を継続できるよう、操業環境や周辺環境の整備の支援などに取り組みます。
2. 生産性向上、D X（デジタル・トランスフォーメーション）の推進、顧客や販売先の拡大・開拓、業務効率化など、企業等の経営基盤の強化や事業活動の拡大に向けた支援に取り組みます。
3. 農業経営が安定的に継続できるよう、農地の保全や特定生産緑地への移行支援、市内農業に対する市民の理解促進などに取り組みます。

方向性 2

■ 新たなチャレンジの支援 ■

1. 市内での創業や新規就農、新たな事業展開などの支援に取り組みます。
2. 地域に活力を生み出す新しいアイデアの創出や、地域に密着した事業の支援に取り組みます。

方向性3

■ 人材の確保や育成の支援 ■

1. 企業等の人材確保や育成、事業承継について、関係機関などと連携した支援に取り組めます。
2. 次代の農業を支える人材の確保や育成、技術の継承について、後継者組織の活性化や、新たな担い手づくりの支援に取り組めます。
3. 企業等による地域人材の雇用を促し、羽村市への定住促進に取り組めます。

関連する計画

- 第二次羽村市産業振興計画
- 羽村市創業支援事業計画
- 羽村市都市計画マスタープラン

施策3 人が集まり、交流を生むまち

市内産業の効果的な魅力発信や、多くの人が集い、交流が生まれる駅周辺などの基盤整備を行うとともに、羽村市に関わる人との交流を生み、まちに活気やにぎわいを創ることに取り組みます。

取組みの方向性

方向性1

■ 羽村市の魅力の向上 ■

1. 羽村市の四季を通じて、人々の交流が生まれるよう、多様な主体と連携して、魅力の向上や交流機会の創出に取り組みます。
2. イベントや催しは、オンライン配信でも楽しめるよう取り組みます。
3. 地域に根ざしている文化や伝統的な祭りなどを多くの人が楽しむとともに、継承できるよう取り組みます。
4. 駅周辺の道路などの都市基盤施設の更新に取り組みます。

方向性2

■ 来訪者とのつながりの創出 ■

1. 市への来訪者が、市内の観光や買い物などのさまざまな情報を手軽に得られるよう、情報収集手段の充実に取り組みます。
2. 関係団体などと連携して、徒歩や自転車などで市内を気軽に散策し、市の歴史や魅力を知ることができるよう取り組みます。
3. 西多摩地域の関係機関や事業者などと連携して、来訪者に、羽村市の魅力や市民との交流を楽しんでもらえるよう取り組みます。

方向性3

■ 羽村市の魅力の発信 ■

1. 羽村市の行事や観光情報をはじめ、事業者・農業者の活動など、地域に根差した情報を、多様な主体により国内外に広く発信し、羽村市のPRにつながるよう取り組みます。
2. ICTなどを活用して国内外の人や都市との関わりやつながりを持てるよう、さまざまな団体などと連携した魅力の発信に取り組みます。

関連する計画

- 第二次羽村市産業振興計画
- 第二次羽村市生涯学習基本計画

3 まちづくりの指標

コンセプト「にぎわいを創る」では、令和2年度に実施した市政世論調査の市民満足度を指標とし、その満足度を上回るように取り組みます。

なお、計画の進捗確認は、これらの指標を参考に、社会経済状況や市の取組みなどを踏まえ、総合的な視点で実施します。

指標の項目		基準となる 市民満足度 (令和2(2020)年度) <small>※令和2年度市政世論調査数値</small>
1	工業の振興策	2.74
2	商業環境づくり	2.52
3	農業の振興と農地の保全	2.76
4	観光事業の活性化	2.68
5	市の魅力発信	—

(※) 市民満足度…各項目の満足度（4点満点）について、それぞれの値の重みを加味して、平均した数値（加重平均）で表したものを。

市民ワークショップや、
市制施行30周年記念事業の小中学生対象
意見交換会、絵画コンクール作品などを
紹介する予定

未来を築くコンセプト

5

くらしを守る

1 実現を目指す未来の姿

コンセプト「暮らしを守る」では、災害や犯罪などから、自助・共助・公助により、私たちの“暮らし”を守ることができるよう、次のような“まち”や“暮らし”を未来の姿として、実現を目指します。

- 一人ひとりの防災に関する知識が向上し、自助・共助・公助による災害対応の役割が理解されるなど、地域の防災力が高まっています。
- 災害などに対する訓練が地域と連携して、継続的に行われ、子どもから高齢者、や障害のある人など、市民の安全が確保されています。
- 災害情報を確実に取得でき、また、家族や身近な人の避難状況等が把握できるなど、災害時の情報提供の仕組みが整っています。
- 交通安全や防犯に関する意識と知識が身についていることや、さまざまな主体が連携したパトロール活動や日々の見守り活動により、交通事故や犯罪などの防止が図られています。
- 大規模災害や感染症の拡大などを想定し、平時から医療体制や必要な物資の確保、業務継続体制の構築などに取り組むことで、市民生活や経済活動を維持できる体制が整っています。

このような“まち”や“暮らし”を実現することは、次のSDGsの目標達成にもつながります

●コンセプトに関連するSDGsの目標



2 施策と取組みの方向性

“まち”や“くらし”の未来の姿を実現するため、次の施策に取り組みます。

施策1 相互の連携・協力による、災害に強いまち

- 方向性1 関係機関との連携の強化
- 方向性2 知識・対策などの習得支援
- 方向性3 災害に強い環境の整備
- 方向性4 災害時に安心して生活できる環境の整備

施策2 犯罪や事故から身を守り、安全で、安心できるまち

- 方向性1 犯罪対策の強化
- 方向性2 交通事故などの防止
- 方向性3 地域との連携の強化
- 方向性4 基地対策の強化

施策3 感染症などから日常のくらしを守り、安定した生活ができるまち

- 方向性1 医療体制の確保
- 方向性2 情報共有の推進
- 方向性3 経済的な支援

施策1 相互の連携・協力による、災害に強いまち

地震や気象災害、火災の発生などによる被害を最小限に抑えるため、市と市民・事業者、国、東京都、関係機関と相互に連携し、普段からの対策・訓練に取り組むことで、自助・共助・公助の強化に取り組みます。

取組みの方向性

方向性1

■ 関係機関との連携の強化 ■

1. 消防署、警察署、消防団、自主防災組織などと連携して地域を守ることができるよう、連携を強化し、防災体制の充実に取り組みます。
2. 災害時に、迅速な復旧活動を行うことができるよう、市内の企業等や団体、他自治体との応援協定の締結などを推進します。

方向性2

■ 知識・対策などの習得支援 ■

1. 地震、風水害、雪害、火災などの災害について、被害を広げないための初期行動などに関する知識や、身を守る方法の習得の支援に取り組みます。
2. 地域や学校などで、さまざまな状況を想定した訓練に、継続的に取り組みます。

方向性3

■ 災害に強い環境の整備 ■

1. 災害に備え、消防団や自主防災組織などの活動が適切に行えるよう、体制の強化や、装備品の充実などに取り組みます。
2. 災害時の被害の拡大を防ぐことや、緊急車両が安全に通行できるよう、都市計画道路の整備や公共施設の耐震化、道路の無電柱化などに取り組みます。
3. 災害時に、正しい情報を迅速に発信できる体制を整えるとともに、避難状況を確認できる仕組みづくりに取り組みます。
4. 台風や大雨などによる多摩川の氾濫や内水氾濫、土砂災害、道路の冠水などへの対策に、関係機関等と連携して取り組みます。

方向性4

■ 災害時に安心して生活できる環境の整備 ■

1. 災害時に配慮が必要な人などが、安全に避難所へ避難できるよう取り組みます。
2. 市内の企業等と連携し、市民や市内で働く人が、円滑に避難できる体制の整備に取り組みます。
3. 安心して避難生活を送ることができるよう、避難所の感染症対策や年齢・性別などに配慮した運営体制の構築、バリアフリー化に取り組むとともに、福祉避難所の充実などに取り組みます。
4. 災害時における必要な物資の事前確保に取り組みます。

関連する計画

- 羽村市国土強靱化地域計画（仮称）
- 羽村市地域防災計画
- 羽村市業務継続計画【地震編】
- 羽村市業務継続計画【インフルエンザ編】
- 羽村駅西口土地区画整理事業 事業計画
- 第二次羽村市水道ビジョン
- 羽村市下水道総合計画
- 羽村市耐震改修促進計画
- 羽村市公共建築物等維持保全計画
- 羽村市橋梁長寿命化修繕計画

施策 2 犯罪や事故から身を守り、安全で、安心できるまち

詐欺、盗難、空き巣などの犯罪や、交通事故などの被害を未然に防ぎ、安全な環境の中で、安心した日常生活を送ることができるよう、関係団体や関係機関との連携による対策強化や環境整備に取り組みます。

取組みの方向性

方向性 1

■ 犯罪対策の強化 ■

1. 詐欺や盗難、空き巣など、犯罪やトラブルにあわないための知識や対処方法を身につけられる講習会などの充実に取り組みます。
2. 特殊詐欺など、複雑化する消費者被害に適切に対応できるよう、さまざまな支援に取り組みます。
3. SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）など、インターネット上のトラブルや、人権侵害などの犯罪について、被害者にも加害者にもならないよう、情報モラルや知識の普及啓発に取り組みます。

方向性 2

■ 交通事故などの防止 ■

1. 交通ルールや交通事故防止に関する知識の普及を図るため、講習会などの充実に取り組みます。
2. 通学路の安全点検を行うなど、子どもたちの安全の確保に取り組みます。
3. 防犯カメラの設置や交通安全施設の充実などにより、犯罪抑止や事故防止などに取り組みます。

方向性3

■ 地域との連携の強化 ■

1. 市民や関係団体などと連携し、地域の見守りやパトロール活動の充実、犯罪被害防止対策の充実などに取り組みます。
2. 地域で安心して暮らせるよう、子どもたちや高齢者などの見守りへのICTの活用に取り組みます。

方向性4

■ 基地対策の強化 ■

1. 横田基地に起因する航空機騒音などの諸問題から市民の生活を守るため、横田基地に隣接する自治体などと連携し、国や米軍への改善に向けた働きかけなどに取り組みます。
2. 国の補助金・交付金を活用し、横田基地に起因する障害の防止や軽減、生活環境の改善を図ります。

関連する計画

- 第五次羽村市防犯、交通安全及び火災予防を推進する計画
- 羽村市地域防災計画

<用語解説>

- SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）：人と人とのつながりを促進・支援する、コミュニティ型のウェブサイトおよびネットサービスのこと
- ICT（Information and Communication Technology）：情報通信技術。通信技術を用いて情報を共有するなどコミュニケーションが含まれる

施策 3 感染症などから日常のくらしを守り、安定した生活ができるまち

私たちの命や日常の暮らしに重大な影響を与えるおそれのある感染症などへの対策に取り組むとともに、市民生活や地域経済を安定的に維持することができるよう取り組みます。

取り組みの方向性

方向性 1

■ 医療体制の確保 ■

1. 感染症の流行や大規模災害に備え、市内の医療機関や公立福生病院などと連携し、医療体制の確保、医薬品や医療に必要な物品の確保に取り組みます。
2. 西多摩保健所を中心とした広域的な医療体制の整備に取り組みます。

方向性 2

■ 情報共有の推進 ■

1. 西多摩保健所との情報共有体制の強化を図るとともに、必要な情報を迅速かつ確実に提供できる体制を整えます。
2. 地域や学校などで感染症予防に関する正しい知識を身につけ、日常の生活の中で実践することができるよう、情報の提供に取り組みます。

方向性3

■ 経済的な支援 ■

1. 感染症の長期的な流行や大規模災害などにより、生活や経済活動に大きな影響を受けている市民や事業者に対する、さまざまな支援に取り組みます。

関連する計画

- 羽村市地域防災計画
- 羽村市業務継続計画【地震編】
- 羽村市業務継続計画【インフルエンザ編】

3 まちづくりの指標

コンセプト「暮らしを守る」では、令和2年度に実施した市政世論調査の市民満足度を指標とし、その満足度を上回るように取り組みます。

なお、計画の進捗確認は、これらの指標を参考に、社会経済状況や市の取組みなどを踏まえ、総合的な視点で実施します。

指標の項目		基準となる 市民満足度 (令和2(2020)年度) <small>※令和2年度市政世論調査数値</small>
1	防災体制の整備・充実	2.70
2	防犯体制の充実	2.64
3	消費者生活の向上を支援する取組み	2.72
4	交通安全対策	2.74
5	横田基地の騒音解消や市民生活の安全確保	2.11

(※) 市民満足度…各項目の満足度（4点満点）について、それぞれの値の重みを加味して、平均した数値（加重平均）で表したものを。

市民ワークショップや、
市制施行30周年記念事業の小中学生対象
意見交換会、絵画コンクール作品などを
紹介する予定